

2019年度 事業報告

一般財団法人 芙蓉協会

1. はじめに

2019年度は、4月に働き方改革関連法が施行され、課題であった長時間労働の是正に取り組むと共に、地域の皆様が最後まで安心して暮らしていけるよう、“聖隷らしいサービス”の提供で「信頼」に応えた。さらに私たちの事業を支えてくださる企業からの「信頼」にも応えるべく、各事業部が予算達成出来るように努めることを法人全職員の共通目標とし、経営の安定化に取り組んだ。

その結果、法人として目標としていた予算達成には届かなかったものの、前年度を上回る当期純利益を計上することができた。中でも、働き方改革関連法の施行もあり取り組んだ費用管理では、人件費と薬品費について総額費用管理を導入。合わせて対前年度約1億9千万円もの削減が図れ、経営の安定化に繋がる効果を生むことができた。

各事業部に関して、病院では、外来部門で慢性化している駐車場不足や待ち時間への課題解決が進まなかったこともあり、患者数の減少を止められず、予算に対し大きなマイナスを生んでしまったが、入院部門では、病床稼働率の向上、また新入院数、紹介件数、手術件数が過去最高となるなど、地域ニーズに合わせた診療体制への変化が図れてきていると捉えている。

健診センターについては、以前から取り組んでいる「健康経営ブランディング」戦略による高単価化への促進が図れたこともあり、予算を達成することができた。社会的に健康への価値観が高まりつつあるため、今後も当センターが地域における「健康経営のパートナー」としての役割を果たしていきたい。

在宅事業に関しても、予算に対しては未達成であったが、小児や重症度の高い利用者の積極的な受入や、職員の教育を行うことで、当在宅事業の強みと方向性が築けてきていると判断する。

2020年度は、法人として創立70周年を迎える。これも長きにわたり地域の皆様に「信頼」され支えられた結果であり、この事実には私たちは「感謝」を持って、これからも事業を継続させていかなければならない。そのためにも経営の安定化、次世代の人材確保は必須であり、各事業部が事業計画及び予算の達成をすべく、職員一丸となりスピードを上げて経営課題の改善に取り組んでいく。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

科目	事業別	前年実績	2019年度				対前年実績比
			予算	実績	差異	対予算比	
医業収益		9,280,263	9,452,410	9,156,296	-296,114	96.9%	98.7%
	病院	7,297,089	7,454,430	7,175,797	-278,633	96.3%	98.3%
	健診	1,660,237	1,625,660	1,661,338	35,678	102.2%	100.1%
	在宅	221,826	238,280	219,112	-19,168	92.0%	98.8%
医業費用		9,295,727	9,391,420	9,126,485	-264,935	97.2%	98.2%
	病院	7,567,458	7,553,370	7,364,382	-188,988	97.5%	97.3%
	健診	1,405,673	1,474,200	1,424,318	-49,882	96.6%	101.3%
	在宅	219,677	238,770	219,436	-19,334	91.9%	99.9%
経常利益		38,747	101,100	98,471	-2,629	97.4%	254.1%
	病院	-221,561	-57,200	-145,344	-88,144	-	-
	健診	256,237	158,300	242,304	84,004	153.1%	94.6%
	在宅	4,071	0	1,512	1,512	-	-
当期純利益		37,258	100,000	43,575	-56,425	43.6%	117.0%
	病院	-222,145	-58,200	-171,369	-113,169	-	-
	健診	255,333	158,200	213,432	55,232	134.9%	83.6%
	在宅	4,071	0	1,512	1,512	-	-

2. 聖隷沼津病院

2019年度は、2018年度に経営課題の一つとして残った、地域との連携による病床稼働の安定化と急性期患者の獲得に取り組んだ。

病床稼働の安定化においては、未だ地域において不足している亜急性期患者の受け皿として、4月に地域包括ケア病床を47床から74床に増床した。急性期病床からの転床だけでなく、地域からのサブアキュート患者の受け入れやレスパイト入院を積極的に受け入れることで地域包括ケア病棟の稼働率は年間を通じ99.8%の高稼働を維持できた。

急性期患者の獲得においては、戦略的な開業医訪問を実施し、医師会から特に要望の強かった内科土曜日初診外来を8月に開始し、受け入れ拡大に努めた。また、開設2年目を迎えた歯科口腔外科に関しても歯科地域連携懇話会を開催するなど地域歯科医師会との連携強化が図れ、歯科口腔外科の紹介件数については1,128件（前年度572件）と飛躍的に増加させることができた。これらが相まって、紹介件数10,766件（前年度10,496件）、新規入院患者数5,489名（前年度5,466名）、手術件数2,563件（前年度2,480件）と、いずれも過去最高件数の受入を行うことが出来た。

患者数を多く受け入れることで急性期病棟と地域包括ケア病棟が効率よく運用できるよう、ベッドコントロールセンターを立ち上げ、日々の入退院数の一元管理と病床稼働の安定化を図り、全体の病床稼働管理を徹底させ、病床稼働率84.3%（前年度比1.8%増）と向上させることができた。

さらに、患者サービスの改善にも積極的に取り組み、4月に外来待合エリアにフリーWi-Fiを導入、5月に透析患者の無料送迎を開始した。6月からは医師を始めとした専門職種による出張講座を定期開催し、地域住民の“医療について知りたい”という要望に応えると共に、新規患者の獲得へと繋げることができた。

患者サービスの点では、入院給食の配膳方法を病棟でのパントリー方式から温冷配膳車による中央配膳方式に切り替え「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」提供できるだけでなく、作業効率を大幅に向上させることによって人件費の削減にも寄与できた。

2018年度のもう一つの経営課題であった費用管理では、人件費と薬品費について総額費用管理を導入、タイムリーな超勤管理、購入予算に合わせた購入量調整やジェネリックへの切り替えなどを随時行い、予算内に収めることができ、一定の効果が生み出せたと評価している。

年間を通じた予算で見ると、収益面では年々減少している外来患者数の減少を止められず、年間平均患者数567.7名（予算差-52.3名）と外来部門で大きなマイナスを生むことになった。これは、慢性化している駐車場不足を含めた診察から処方までの待ち時間対策や、電話予約時の時間制限などの改善が図れなかったことが大きな要因と考える。

これらを次年度への課題として、2020年度は、残されている経営課題に対しスピードを上げ取り組みと共に、今一度、利用者を迎えるにふさわしい病院作りに注力していきたい。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
入院1日平均患者数（人）	202.8	212.0	207.4	-4.6	4.6
単価（円）	47,681	46,430	47,010	580	-671
外来1日平均患者数（人）	591.9	620.0	567.7	-52.3	-24.2
単価（円）	20,278	20,800	20,384	-416	106

3. 聖隷沼津第一クリニック（聖隷沼津健康診断センター）

2019年度は、地域・企業・健保に「健康経営の推進」と「健診の質」を提供し、付加価値を高めて高単価化による事業運営を行うことができた。特定保健指導の実施率は、前年比220%、また成果においても積極的支援継続率72%、動機付け支援継続率90%と大きな成果をあげることができた。

年度末には新型コロナウイルス感染症の影響により事業主健診の延期等があったが、センター全体での事業規模としては16億円台を維持し税引前当期純利益として2億円台の成績で終えることができた。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、根本的な見直しが必要となる。健康の価値感が見直される中、健康経営ブランディング戦略を推し進め、「健康経営のパートナー」として誰もが長く活躍できる社会を構築できるよう貢献する。JKA補助事業による超バリアフリー検診車を活用し、身障者・高齢者施設の健診業務へ積極的に参入し、事業規模の拡大、収益増を行う。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
施設内受診者数（人）	88,946	85,884	87,390	1,506	-1,556
施設外受診者数（人）	47,879	47,835	48,243	408	364
外来受診者数（人）	4,302	4,420	4,404	-16	102
単価（円）	11,652	11,680	11,763	83	111

4. 在宅サービス事業

（聖隷訪問看護ステーション千本・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町）

どんなに重度な状態であっても住み慣れた、地域や家で最後まで過ごすことを叶えるために在宅サービス事業は活動を展開してきた。

訪問看護は予算には未達だったが、収入は前年度を上回ることができた。この増収はほとんどが医療保険収入である。意識的に重度な小児やがん末期を受けようとした。そのため、小児専門のステーションに10人の看護師が研修に行った。今後も、小児や重症度の高い利用者のニーズにこたえた運営をしていきたい。

看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町（看多機）の契約数は前年比5%減になってしまった。これは11月12月の落ち込みが大きく影響した。契約件数が死亡や施設入所などで20人を切ってしまった。しかし1月からは徐々に増え3月には回復した。重症度の高い利用者が多いので状態変化が激しく介護力の低下が施設入所につながっている。開設して5年が経過し、収益は訪問看護と肩を並べるほどになってきた。契約人数と重症度のコントロールが今後も重要になってくる。

地域包括ケアシステムの中で重要な役割を持つのは、いろいろな機能を持つ地域の拠点となるようなステーションである。訪問看護、リハビリ、ケアマネそして看多機が協力し合い、それぞれの職種が専門職の機能を果たすことが拠点となる当ステーションの役割である。安定した事業の継続と展開をして地域貢献していきたい。

聖隷訪問看護ステーション千本	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
医療保険 利用者延べ数（人）	3,401	3,600	3,595	-5	194
単価（円）	11,727	11,500	11,848	348	121
介護保険 利用者延べ数（人）	9,320	9,960	8,995	-965	-325
単価（円）	8,458	8,600	8,822	222	364

看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
延べ契約者数（人）	290	300	273	-27	-17
単価（円）	332,610	338,000	334,780	-3,220	2,170

【2019年度の主な行事】

法人全体

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月1日～2日
監事監査(決算)	5月13日
理事会	5月17日、3月16日
中堅職員研修(全6回)	5月22日、7月23日、8月22日 10月18日～19日、12月6日 3月4日
新人職員研修(全2回)	6月15日～16日、1月15日
評議員会	6月4日
2年目職員研修	7月6日～7日
インストラクター研修	9月10日
聖隷福祉事業団による関連法人外部監査	5月27日
第32回聖隷沼津学術集会	11月3日
健康経営優良法人2020(大規模法人部門(ホワイト500))認定	3月2日

聖隷沼津病院

行 事 内 容	実 施 日
介護職員等によるたんの吸引等の研修(第2号・第3号)	5月10日～7月1日 8月26日～10月29日
医療安全セミナー	6月28日、10月29日、12月3日 9月4日、9月8日
認知症研修	9月9日
2019 聖隷沼津病院 知ってなるほど!公開講座 in 第2地区センター	6月26日～2月19日(全16回)
総合防災訓練	11月15日
第9回地域連携懇話会	6月30日
地域包括ケア連携懇話会	10月16日、8月18日
院内感染対策セミナー	10月3日、10月7日～9日 11月5日～7日、2月10日 2月28日
聖隷福祉事業団による関連法人施設基準外部監査	8月18日
高校生一日看護体験	7月30日、8月6日
医療法第25条第1項に基づく立入検査・消防立入検査	9月4日
BLSセミナー	9月4日、9月7日、10月23日
DM教室	11月30日
聖隷沼津病院 院内コンサート	10月5日、11月16日、12月8日
無料定額診療事業指導監査	3月2日

聖隷沼津第一クリニック(聖隷沼津健康診断センター)

行 事 内 容	実 施 日
健康経営の推進セミナー	6月3日
防災「地震・津波対策」セミナー(沼津市危機管理課)	9月2日
安全衛生「歯科口腔外科って、何？」セミナー	10月1日
ジャパン・マンモグラフィ・サンデー	10月20日
「職場におけるハラスメント対策～働きやすい職場づくりのために～」	11月1日
地震(津波)想定防災訓練	11月22日
感染対策「標準予防策」セミナー	12月2日
教育「ISMS 研修 I」セミナー	1月9日
ISMS (ISO/IEC 27001:2013)維持審査	1月16日～17日
安全運転講習	1月29日
安全衛生「アルコール分解酵素遺伝子検査について」セミナー	2月3日
火災想定防災訓練	2月25日

在宅サービス事業部

(聖隷訪問看護ステーション千本・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町)

行 事 内 容	実 施 日
静岡県医師会 在宅医療体制整備・推進協議会委員	
静岡県がん診療連携協議会支持療法部会委員	
沼津市在宅医療・介護連携推進協議会委員	
静岡県訪問看護ステーション協議会 新卒育成委員会委員	
静岡県訪問看護ステーション協議会電話相談事業	
沼津市立看護学校 講師	
千本地区ケアマネのつどい スーパーバイザー	年4回
千本地区主任ケアマネ研修スーパーバイザー	年4回
全国訪問看護事業協会 新任訪問看護師基礎研修講義	年2回
在宅重症心身障害児対応多職種連携研修パネラー	